

水戸女子高校は、長い歴史の中で学校の仕組みや制服などが変化してきました。しかし、「社会に貢献する女性の育成」という建学精神に基づく指導は変わっていません。

それでは、水戸女子高校の卒業生がどのように社会で頑張っているのでしょうか？卒業生にインタビューをしてみました。

第7回は杉山詩織さんです。杉山さんは平成17年度に入学し、商業科会計情報コースを選択しました。また、在学中は生徒会会長としても活躍されました。現在はホテルテラスザガーデン水戸に勤務をされています。

インタビューー：生徒募集強化委員会 西内豊人

## 学生生活は充実していました！

今日はインタビューを受けていただきありがとうございます。早速ですが、水戸女子高校での思い出を教えてください。

高校3年間は充実していたと思います。生徒会活動や学級委員など、普通の高校生では出来ないことをやるのが出来ました。とても楽しい高校生活でした。

なぜ生徒会活動に参加しようと思ったのですか？

1年生の5月頃に「生徒会活動、やってみないか」と学年副主任の先生に勧められました。「私も出来るのかも」と思い、生徒会に立候補しました。もし、声がかからなければ生徒会活動はやっていなかったですね。

最終的には生徒会会長として活躍されました。やはり生徒会長の印象は強いですね。“商業科”という部分での思い出はありますか？

もともと商業科を選んだ理由は「資格が取れる」という部分だったので、資格取得を目指して頑張っていました。クラスメイトも時には“ライバル”となり、競争心も芽生えましたね(笑)

杉山さんも多くの資格を取って卒業しましたよね。杉山さんは高校卒業後に城西大学経営学部に進学します。大学生活はいかがでしたか？

「簿記塾\*1」を中心とした大学生活でした。高校でも商業科に在籍し、大学も経営学部ということもあり、簿記の勉強に力を入れました。

\*1： 城西大学の学習サークル「蛭川簿記塾」の略。



フロント業務中の写真です。普段は、宿泊するお客様の対応などを行っています。



ブライダルフェアのモデルにもなります。「仕事」と言われなければ、勘違いされますね。

簿記塾の活動を詳しく教えてください。

簿記塾では「日商\*1 級取得」を目指して頑張っていました。検定前は大学の授業が終わってから図書館などで夜9時頃まで勉強していました。結局、日商2級取得で終わってしまったのですが、日商2級に合格した時はとてもうれしかったです。また、簿記塾では幹事をまかされ、卒業旅行の企画なども行いました。本当に楽しい大学生活でした。

## 仕事はやっぱり大変です…。

杉山さんは現在ホテルテラスザガーデン水戸のフロント業務を担当しています。ホテルの仕事を選んだきっかけを教えてください。

大学卒業後は茨城に戻って就職しようと考えていたので、新卒者就職応援プロジェクト\*2に参加しました。最初の3か月は社会でのマナーを主に勉強し、7月から実習がスタートしました。自分では「人当たりが良い」と思っていたので、現在の勤務先への実習を希望しました。

そのプロジェクトに参加されていたんですね。実習期間中はどうでしたか？

実習期間中からフロント業務を任せられました。フロントでは色々なお客様に会えるので、とても楽しいですね。

実習期間を経て、正社員として採用されたんですね。

翌年に正式に社員として採用されることが決定し、引き続きフロント業務になりました。系列のホテルで研修として色々な部署の事に携わりました。仕事が見つかったわけではないのですが、この研修で顔がこけました。研修から戻ってきたら、職場の人達に「大丈夫？」って心配されたくらいです(笑)

確かに在学中と比べ、顔がほっそりしましたね(笑) 仕事をしていて、何か苦勞されていることはありますか？

お客様に1番最初に接する部署でもあり、1つの失敗が大きなことにつながる部署でもあるので、毎日気を張っていますね。

今、目標はありますか？

人のせいになってしまうことがまだあるので、「責任感」をもっと身につけたいと思っています。そして、もっと飛躍したいですね！

## 学べるうちに学んでおこう！

最後に在校生にメッセージをいただけますか？

高校生が職場体験に参加するケースがありますが、考え方が甘く、協調性がないと思います。高校時代にもっと色々な人とコミュニケーションをとってほしいと感じています。また、どの企業でも身だしなみをきちんとしていけないと注意を受けるので、校則をきちんと守ってほしいと思います。あと、社会に出てしまうと勉強する時間は本当になくなります。学べるうちにしっかり学んでおいてほしいと思います。

本日はありがとうございました。

\*2： 日商簿記検定の略。

\*3： 就職先が未定の大学等卒業生に向けて、企業での職場実習制度(いわゆるインターンシップ)を通して、企業に就職する上で必要な技能・技術・ノウハウを習得するという国の支援制度の1つ。

高校時代変わらず、気さくな杉山さん。話し方や表情も在学中と何ら変わっていませんでした。ただ、時折見せる「大人」の部分に成長を感じることが出来ました。大変な仕事だと思いますが、引き続き頑張ってください。応援しています。

「社会に貢献する女性」を訪ねては年3回の発行を予定しています。次回もお楽しみに。